

## 令和3年度 沖縄県医師会医学会賞 (研修医部門)



広報担当委員 藏下 要

令和3年度12月の沖縄県医師会医学会は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて通常の学会形式での開催は中止となりましたが、研修医部門だけは口演形式にして単独で開催することとなりました。発表に臨んだ研修医たちは県内の各病院で2年目の研修を行っている皆さんです。この学年の研修医の皆さんはコロナ禍の影響をまともに受けた世代で、医師会が主催する研修医関連の事業にはほとんど参加することができませんでした。研修開始時の令和2年4月は医師会主催の新研修医歓迎会は行われず、1年目の12月の医学会は中止、2年目の6月の医学会はポスターWEB開催という状況でした。研修医として不運な2年間を過ごしてきた彼らにとって、今回の県医師会館大ホールの舞台上で口演形式によって行われた発表の機会はとても意味のあるものであったように思います。

演題数は全部で11演題。発表者には発表内容に以下の4点を含めることが課題として事前に伝えられておりました。

- ①発表する症例の明確な医学的意義
- ②鑑別診断から確定診断への明快な思考プロセス
- ③発表者が主治医として患者にどのように関わったか
- ④研究発表を通して他の研修医に伝えたいこと

研修医たちの発表はどれも課題に従って的確にまとめられ、制限時間超過がほとんどなく、考察内容も大変良かったと思います。そして何よりも感心したのは、発表後の質問に対してもステージ上で堂々とした態度で、てきぱきと答えている姿でした。コロナ禍の特殊な研修環境の中においても2年間きちんとした研修を受け、しっかりと成長していることを感じ、とてもうれしく思いました。各病院の指導医の先生方の並々ならぬご尽力の賜物ではないかと思えます。

発表終了後の厳正な審査の結果、受賞者は以下の通りとなりました。

発表されたすべての研修医の皆さんの今後益々のご活躍を祈念いたします。

**最優秀賞：宮城 翔 先生**  
(那覇市立病院)

**優 秀 賞：中西 豪 先生**  
(県立南部医療センター・こども医療センター)

**優 秀 賞：森 真希子 先生**  
(友愛医療センター)

## 一般講演 演題・演者一覧

### <口演部門>

#### 沖縄県医師会医学会賞（研修医部門）

1. 単関節炎から多関節炎への移行が契機となり病歴再聴取で診断に至った一例  
中頭病院 伊藤 恭平
2. 形態異常のある好酸球増多から速やかに診断に至った慢性好酸球性白血病  
ハートライフ病院 眞榮城 明里
3. 帯状疱疹後に微小変化型ネフローゼ症候群と複数の自己免疫疾患を発症した一例  
琉球大学病院 饒波 涼子
4. 気管支拡張症・緑膿菌肺炎の治療経過中に壊死性半月体形成性腎炎と下垂足を呈した ANCA 関連血管炎の一例  
沖縄県立中部病院 浦田 みやこ
5. 頸部のマッサージ後に発症した左内頸動脈解離の一例  
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 酒井 伶奈
6. 急性腎盂腎炎の治療中に敗血症性肺塞栓を合併した一例  
友愛医療センター 森 真希子
7. 繰り返す意識障害に対して脳波検査を施行し、非痙攣性てんかん重積状態と診断した一例  
那覇市立病院 宮城 翔
8. 腹水を伴わない肝性胸水を認めた発熱患者に胸水穿刺を行うことで特発性細菌性胸膜炎を診断できた一例  
沖縄県立中部病院 伊志嶺 賢人
9. 長期入院中に bicytopenia をきたした後天性銅欠乏症の1例  
沖縄県立北部病院 森 澄生
10. 沖縄の高級魚“アカジンミーバイ”と“ナガジューミーバイ”の誤認からシガテラ中毒を避けるために沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 中西 豪
11. 演題取り下げ
12. 演題取り下げ
13. 再発性小腸出血に対してハイブリッド手術で緊急止血術を施行した1例  
友愛医療センター 桑江 一希



受賞者登壇

右：中西 豪先生（県立南部医療センター・こども医療センター）  
中央：森真希子先生（友愛医療センター）  
左：宮城 翔先生（那覇市立病院）



発表の様子

